

カンボジア Overseas Community Project (OCP)

21km ウォーキング、HIV ヴィレッジ訪問 3/19

3月19日（火）早朝から HIV ヴィレッジに向けて 21km 歩きます。16km 地点、昼食を終え気温 35°C。安全のため HIV ヴィレッジまでの残り 5km はバスでの移動となりました。毎年訪れて支援を続けている ナウィとの対面。彼女は HIV に感染していますが、自分のような病気の人を助けるため医師になる夢を持っています。

以下、会計担当の「よしの」こと長谷川さんが感想を綴ってくれました。

こんにちは今日のブログ担当は 3A 長谷川です、よろしくお願いします。

突然ですが、みなさん 1 度にどれくらいの長さの距離を歩いたことがありますか??

3km?4km?いやいやこちらは 16km。しかも朝 6 時起床の気温 37 度、炎天下のなかでのウォーキング活動がありました。



あまり変化のない周りの風景の中を歩き続けるのはつらかったですが、なぜこの OCP の活動を共にしているシンガポールの学生が何度もカンボジアに戻ってくる理由が少しわかったような気もしました。それは達成感やたくさんの学びを得られることだと思います。

日本にとどまるだけでも十分な教育環境が整っているのに質の良い学びはできますが、価値のある学びができるのは実際に足を踏み入れることだと思います。

今回の 21km ウォーキングのゴール地点は HIV ヴィレッジで実際に体験者の方から話を聞くことができました。通訳者を通じながらでしたが、表情や声からどんな思いで今でもそこに住み続けるのか、価値のある学びができたと思います。



21km のウォーキングはリタイアの数が多くなったことにより、16km 地点で終了となりましたがとても良い経験になりました。進むにつれてネガティブな感情が膨れ上がり投げ出しそうになることもありましたが、そこでチーム全体で手を取り合って励まし合うことができるのがこの OCP の魅力とも思います。実際に 16km 歩いても午後には何事もなかったかのようにみんなでわいわいダンスを踊って今日ほんとはあれだけ歩いたのかななんてことも話していました。結局物事ってそんなもんだとおもいます。辛いこと苦しいことがあっても、そのうちすぐ忘れるはず。そんなことを身で感じながら 2 日目は終了。まだまだ日数はありますがここからが勝負だと思えます。

OCP2024 メンバーの未来は明るいのか、乞うご期待です!!

読んでいただきありがとうございました。